

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	秋ぎく20a、夏ぎく10a、電照ぎく10a、小ぎく10a、スプレーギク10a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目													冬至芽移植……………
2年目		…………… 親株摘心 挿し芽 ◎—摘心————□~~~~□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f)×(G)×利率
作業場	木・瓦	50 m ²	3,055,500	33	1,018,500	1,018,500	15	67,900	8	475,300	100	19,012
灌水ポンプ	400ℓ/分	1台	171,200	33	57,067	57,067	7	8,152	4	24,457	100	978
管理機	3.5ps	1台	197,400	33	65,800	65,800	7	9,400	4	28,200	100	1,128
背負式動力噴霧機	20ℓ	1台	68,780	33	22,927	22,927	7	3,275	4	9,825	100	393
動力噴霧機	可搬式 6ps	1台	287,700	33	95,900	95,900	7	13,700	4	41,100	100	1,644
トラクタ	4WD 20ps	1台	1,955,520	33	651,840	651,840	7	93,120	4	279,360	50	5,587
ロータリ	160cm	1台	388,049	33	129,349	129,349	7	18,479	4	55,435	50	1,109
畦立てマルチャー	14~25ps	1台	460,922	50	230,461	230,461	7	32,923	4	98,769	100	3,951
下葉取り機	30~50本/分	1台	189,288	33	63,096	63,096	8	7,887	4	31,548	100	1,262
軽トラック	660cc、4WD、350ℓ	1台	850,000	33	283,333	283,333	4	70,833	2	141,667	100	5,667
合計			7,685,259		2,638,573	2,638,573		329,730		1,193,781		41,055

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
きく	夢の露、神馬など	秋 (9/中～10/下出荷)	32,000本	排水良好な水田転換畑	20a

項目	耕 種 基 準			作 業 基 準				燃 料 消 費 量 (L/10a)	
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間 機械利 用時間	組 延労働 時 間 人員		
作業名									
冬至芽移植	11/上	冬至芽 油かす	500～700株 10kg	人力	○優良な親株を無加温ハウス内に移植する。床面積60～80㎡ ○株元に油かすを10kg/a 施用する。		2.0	8.0	
親株の摘心	2/中～4/中			人力	○草丈が10cm程度伸長した時に2回摘心して、わき芽を増やす。 ○親株は草丈35cm以下で管理する。		1.0	8.0	
挿 し 芽	4/中～5/中	オキシベロン液剤 162穴セル成型トレイ メトロミックス350 ポリフィルム 50%寒冷紗	30ml 90～120枚 7～9袋 (600%) 3m×15m 3m×15m	人力	○定植予定日の2週間前に挿し芽する。 ○挿し穂の折口にはオキシベロン2倍液を処理し、挿し芽床をポリフィルムで覆い、その上に寒冷紗をかける。		2.0	40.0	
本 圃 準 備	4/下～5/下	堆肥 苦土入りセルカ ミネラル宝素 苦土重焼燐 花子 白黒ダブ 0.03×13	3 t 100kg 100kg 60kg 300kg 700m	トラクタ ロータリ マルチャー 灌水ポンプ	○畝幅80～85cm、通路50cm ○灌水を十分ににする。	6.0	2.0	14.0	軽油 13.5 ガソリン 2.0
定 植	5/上～6/上			人力	○定植日は採花予定日から到花日数を差し引いた日とする。 ○マルチに穴を開ける。 ○株間10～15cm、条間30～35cm、定植苗数は12,000～15,000株		2.0	48.0	
摘 心	5/中～6/下			人力	○定植10～15日後、4～5節残して摘心する。		2.0	8.0	
整 枝	6/上～7/上			人力	○大きさのそろった芽を2～3本に整理する (35,000～36,000本/10a)。		2.0	30.0	
支柱立て・ ネット張り	6/上～10/上	フラワーネット 12cm×5目 支柱パイプ 130cm	700m 1,000本	人力	○定植時から草丈30cmまでに行う。 ○フラワーネットは草丈の7割程度の高さに適宜引き上げる。		2.0	24.0	
除 草	5/下～9/中			人力	○適宜手取り除草をする。		2.0	16.0	
灌 水	5/上～10/中			灌水ポンプ	○乾燥時に適宜灌水する。	4.0	1.0	4.0	ガソリン 4.0
摘芽・摘蕾	9/上～10/中			人力	○蕾が小豆粒大になったら、頂花を残して摘蕾する。わき芽は順次摘除する。		2.0	240.0	
わい化剤散布	9/上～9/中	ビーナイン水溶剤	200 g	背負式動力 噴霧機	○出蕾時にわい化剤を散布する。	3.0	1.0	6.0	ガソリン 3.0
収穫・調製	9/中～10/下	段ボール 輪ゴム クラフトテープ	320箱 16ヶ	軽トラック 下葉取り機 人力	○朝切り・水揚げを励行する。 ○採花時期を厳守する。	20.0	2.0	400.0	ガソリン 20.0 電気 100.0

技術体系

項目 作業名	耕種基準 作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃料 消費量 (% / 10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
病害虫防除	通年	ジェイエース粒剤 アルバリン顆粒水溶 カスケード乳剤 モスピラン水溶剤 アドマイヤー707 [®] 乳 ニッソラン水和剤 DDVP乳剤 ハチハチ乳剤 ジマンダイセン707 [®] 乳 ダコニール1000 サブロール乳剤 ストロビー707 [®] 乳	9kg 250g 250ml 155g 85ml 75g 180ml 10ml 575ml 1,025ml 510ml 275ml	動力噴霧機 軽トラック	○白さび病、アブラムシ類、ダニ類、アザミウマ類が多発するので予防散布を徹底する。	49.0 24.0	1	61.0	カリウム 49.0 カルシウム 24.0
合 計								907.0	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	1,910,400	秋ぎく 生産量①: 32,000 本 単価②: 60 円/本	
	主産物価額	0	生産量: 単価:	
	主産物価額	0	生産量: 単価:	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	1,910,400		
生	生産原価	種 苗 費	100,000	
		肥 料 費	78,180	使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	40,445	〃
		諸 材 料 費	111,324	〃
		動力光熱費	24,228	
		農 具 費	33,078	機械負担価額×4%
		建物等修繕費	5,092	建物・構築物負担価額×1%
		賃 料 料 金	0	
		共 済 掛 金	0	
		雇 用 労 賃	87,400	
		減価償却費⑤	164,865	別表のとおり
		土地改良費	7,900	
		支払地代⑥	0	
		小計 (B)	652,512	
費	販売費一般 管理費	出荷資材費	78,597	
		販 売 諸 費	338,000	
		諸税負担金	7,897	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	9,267	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	1,674	借入資本利率2%
		小計 (C)	435,434	
経 営 費 (D)	1,087,946	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	1,054,950	農 従 労 働 時 間: 797.8 生産管理労働時間 13.7 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	2,142,896	主産物単位当たり 67 円/1本 注 (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	39,527	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	20,528	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	10,267			
全算入生産費 (H)	2,213,218	生産物単位当たり 69 円/1本 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	822,454	時間当たり 1,013 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	43	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-302,818	注) (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	752,132	時間当たり 927 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-232,496	注) (M) = (I) -⑧		

